

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

メキシケム ジャパン株式会社 三原製造所

(2) 事業所の所在地

広島県三原市円一町一丁目1番36号

(3) 業種

1632 脂肪族系中間物製造業

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

メキシケム ジャパン(株)三原製造所は、以下の環境方針に則って活動を行う。

安全はメキシケムグループ全社に共通する最優先事項であり、環境保全と製品・サービスの品質向上を重要事項としています。メキシケムジャパンの社員はそれらに関する利害関係者のニーズに応える努力を惜しみません。

環境の保護及び保全の向上を目指します

汚染を防止し、資源の無駄遣いをなくし、廃棄物の再利用を図ることで、環境への影響を最小限に抑えます。□

ルールを守ります

行政や利害関係者等からの環境関連の規制や規則、協定などを順守します。

円滑なPDCAサイクルを維持します

環境目標を設定して、結果を評価し、プロセスの見直しを繰り返し、絶えずEMS活動の有効性を確認し改善をします。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和元(2019)年度
二酸化炭素	28,996	23,954

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和元(2019)年度
二酸化炭素	562	187

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和元(2019)年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	1,408	2,919

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度		削減目標		目標年度
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	削減率 (b)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量					0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量(t)

※再生品を含む

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 平成25 (2013) 年度				原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 令和6 (2024) 年度		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	28,996	12,240	2.37	19.0	24,970	13,000	1.92	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	562	12,240	0.05	60.0	195	13,000	0.02	
メタン								
一酸化二窒素								
その他 温室効果ガス	1,408	12,240	0.12	-75.0	2,700	13,000	0.21	
総排出量	30,966	12,240	2.53	15.4	27,865	13,000	2.14	
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	0.97	19.6	-	-	0.78	
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース年1%の削減率							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	フッ素化合物類の分解業務の適切な対応	処理依頼に対して100%対応	在庫品と入荷品の処理バランスを取ながら効率処理実施。
2	HFC製造に伴う温暖化ガス排出の削減	排出量を生産量×0.01%以下	製品ポリッシャー交換頻度低減 排水量の低減
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

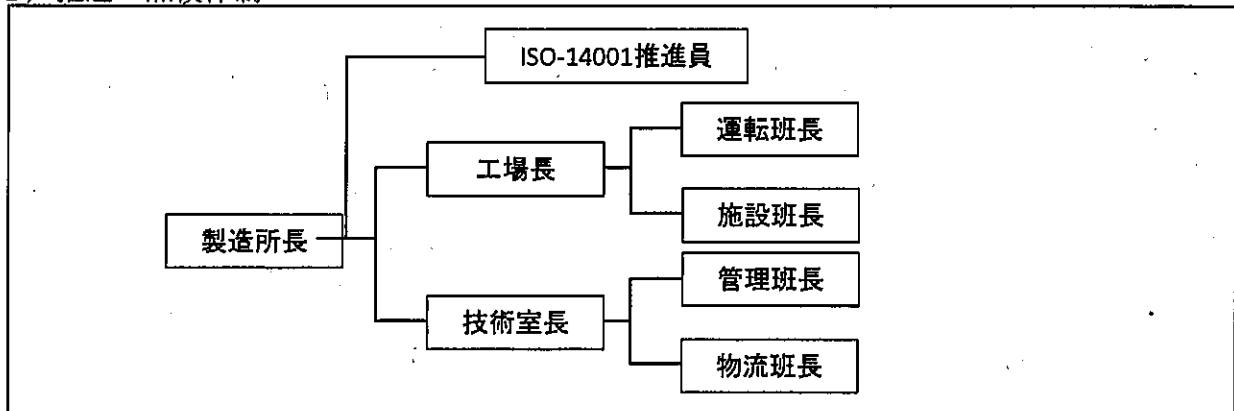
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	フロン再生事業の拡大	再生量の現行能力比 30%アップ	運転最適化 再生設備増強
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

ISO-14001推進員を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検および問題点の検討を行う。

この検討内容を、年度の環境目的及び目標の設定に反映させ、継続的な向上を図る。

### (3) 計画書等の公表

製造所への備え付けによる閲覧